



給食センターが大巨表彰  
食育活動が評価

市学校給食センター（菅原淳一所長）はこのほど、平成25年度栄養功労者厚生労働大臣表彰の特定給食施設部門表彰を受けました。同センターは1971年から市内の小・中学校に給食の提供を開始。給食の管理・運用のほか、地産地消ふれあい給食や、市内小・中学校の全クラスを訪問し、行っている食育指導などの取り組みが評価されました。菅原所長は「今後も食育や地産地消に努めていきたいです」と抱負を語りました。



人権作文・書道表彰  
市内から4人受賞

第33回全国中学校人権作文コンテスト県大会と第22回県小学生人権書道コンテストの表彰式が12月7日、アンバーホールで行われ、久慈・二戸地域の受賞者9人に賞状が授与されました。受賞者は以下のとおり（市関係分、敬称略）  
【優秀賞】▶三上琴璃（夏井中3年・作文）▶佐々木彩優佳（久慈湊小6年・書道）▶村上美晴（同5年・同）  
【奨励賞】▶馬場真優（久慈湊小5年・書道）

谷崎クマさんが100歳を迎える  
家族に囲まれ長寿祝い



集まった家族らと記念撮影をする谷崎さん（中央）

11月20日、侍浜町の谷崎クマさんが100歳を迎え、翌21日に家族ら約30人が集まり長寿祝いを行いました。山内隆文市長が祝い状を読み上げ、祝い金と一緒に「100歳おめでとうございませう」と手渡すと、谷崎さんは受け取った祝い状にじっくりと目を通し、微笑んでいました。その後は家族らが谷崎

市内長寿者データ

- 最高齢者…105歳
- 100歳以上…18人
- 平成25年に100歳を迎えた人数…9人

※平成25年12月1日現在

さんを囲んで記念撮影。みんなで長寿を祝いました。若いころは、家事のほか、自宅の近くで炭焼きをしていた谷崎さん。60歳を過ぎてからは、畑仕事の傍ら、老人クラブのゲートボールに参加していたそうです。五男の谷崎梅治さんは「母の長生ぎは一緒に暮らす兄弟夫婦のおかげです。これからも長生ぎしてほしいです」と家族に感謝し、母の長寿を喜んでいました。

谷地司さんが県木炭品評会で最優秀賞  
4連覇の快挙に達成感



「授与式は緊張しました」と話す谷地さん

東日本大震災の影響により多くの窯が被災したため、3年ぶりの開催となった県木炭品評会（岩手県木炭協会主催）で、谷地林業の窯長の谷地司さんが黒炭の切炭、長炭両部門で最優秀賞を受賞。併せて、農林水産大臣賞と林野庁長官賞、岩手県知事賞、全国木炭協会長賞を受賞しました。谷地さんの長炭の部最優



最優秀賞を受賞した長炭

秀賞受賞は4期連続で、同品評会初の快挙でした。「これまで多くの先輩たちからの指導をいただき、良いものをたくさんの人に使うてもらいたいという思いで研究を重ねてきました。4連覇を成し遂げ、今は達成感でいっぱいです」と語る谷地さん。今後の目標を「全国、世界の生産現場に目を向けながら、若い生産者の育成などにも努めていきたいと思えます」と力強く話しました。

第8回久慈市読書感想文コンクール  
刻んだ言葉を一生の宝物に



亀田公明教育長から賞状を受け取る工藤有惟さん

第8回市読書感想文コンクール表彰式が12月8日、中央公民館で開催され、小学生から高校生までの各部門の入賞者に賞状が贈られました。審査員を務めた市図書館協議会の藤森敏夫さんは入賞者の作品の一節を紹介し「皆さんの作品を読み、明るい気持ちになりました。読書で心に刻んだ言葉を一生の宝物にしてください」と講評しました。「人間失格」の感想文を書き、中学校の部の最優秀賞に選ばれた森岩寿々さん（久慈中2年）は「感じたことをうまく文章にまとめることができました。受賞するとは思っていませんでした。うれしいです」と喜びを語りました。

受賞者は次のとおり。敬称略。各部門の①は最優秀賞、②は優秀賞、③は奨励賞

- 小学校低学年の部
  - ①重 明日香（久慈小1年）
  - ②日向 爽良（山形小1年）
  - ③宅石 一葉（小国小1年）
- 小学校中学年の部
  - ①夏井ひなの（夏井小3年）
  - ②戸草内洪稀（長内小4年）
  - ③大内田啓悟（平山小3年）
- 小学校高学年の部
  - ①小関 夏海（長内小6年）
  - ②清水畑彩花（小国小6年）
  - ③中川 紗希（小袖小6年）
- 中学校の部
  - ①森岩 寿々（久慈中2年）
  - ②外館 咲希（久慈中3年）
  - ③生平 涼（久慈中2年）
- 高等学校の部
  - ①工藤 有惟（久慈東高1年）
  - ②工藤 春菜（久慈高1年）
  - ③中田 千尋（久慈高2年）

入選作品集は市立図書館、山形図書館、各公民館で読むことができます

第27回いわて秋さけ料理コンクール  
秋鮭ふんだんに使い入賞

県教育長賞  
まめぶ風鮭のだんご汁

入賞できると思っていなかったのでもうれしいです。これからも、いろいろなコンクールで結果を残せるように頑張ります。

上野 きよみさん（久慈東高2年）

優良賞  
塩菜のメモリー鮭ロール

去年の悔しさをばねに再挑戦しました。書類審査を通過し、自分の作品を多くの人に食べてもらえたことが自信になりました。

小野 あゆみさん（久慈東高3年）

11月6日、第27回いわて秋さけ料理コンクールが盛岡市で開かれ、上野きよみさん（久慈東高2年）の「まめぶ風鮭のだんご汁」が県教育長賞を受賞。また、小野あゆみさん（同3年）の「塩菜のメモリー鮭ロール」が優良賞を受賞しました。コンクールには県内16の高校から485点の応募があり、書類審査を通過した10人が最終審査に望みました。上野さんの作品は、まめぶがヒント。サケのペーストを練りこんだ鮭団子は、試作の段階では粉の分量が分からず、生地がまとまるまで試行錯誤を重ねました。また、具材にも秋サケをふんだんに使い、見た目も秋を感じられる料理に仕上げました。小野さんの作品は、本コンクールでは珍しいスイーツ。生地はサケと野菜を混ぜ合わせて作り、生クリームにもイクラを加え、彩りよく仕上げたロールケーキです。レシピは岩手県漁連ホームページに掲載されています。